

# すさみ町LPP

『過疎地の芸術祭を通して、  
新たな観光の意味を見出そう！』

T2510008 生駒咲樹  
T2510077 西田あいり  
T2510095 松尾優実



## 【概要】

人口3,500人、高齢化率5割、2,000世帯中500件が空き家、コンビニさえ街の中心にないすさみ町。私たちはすさみ町の旧町立病院をリノベーションし、町民が集えるコミュニティ拠点へと生まれ変わらせるプロジェクトを進めています。2025年秋に開催された地域の芸術祭「すさみアートキャンプ2025」を地域内外の方とともにプロデュースし、地域の芸術祭のあり方や、「祝祭性」について実践的に探究しました。地域の暮らしや想いと都市住民の地域への期待とニーズを掛け合わせ、「居場所づくり」と「観光のあり方」を2年間かけて模索しています。

## 【すさみアートキャンプについて】

「すさみアートキャンプ」は二年に一度すさみ町で開催される芸術祭（ビエンナーレ）です。2025年度は11月14日から16日にかけて開催され、すさみ町内だけでなく、全国から集まった参加者が、出展者や運営関係者として関わることができます。私たちは作品展示とワークショップを実施しました。また、他の出展者による企画（絵画制作、紙ひこうき作り等）への参加や、参加者同士で食卓を囲み、関係性を育む「おなかも食堂」での交流を通じ、地域内外の関係性を育むことができました。すさみ町の豊かな自然環境を堪能しながら文化的な体験ができる有意義なイベントであると体感した一方で、地域住民への認知度がまだ低いという課題も見えてきました。より親しまれる形を、今後自分たちでも検討していきたいです。



## 【実施内容】

11月に開催された「すさみアートキャンプ2025」に向かって、作品制作を中心とした活動しました。私たちは「すさみの方言」に着目し、方言を楽しめるポスター46種類と、神経衰弱カードゲームを作成しました。メンバー3人でそれぞれの得意分野を活かして役割を分担し、効率的に制作を進めることができました。さらに、イベント当日に向けて、制作した作品を用いたワークショップを企画しました。告知用のチラシも準備し、すさみ町役場や公民館、小学校を巡り、地域の方へ直接案内を行いました。当日は、「方言」が橋渡しとなって地域内外の交流が生まれ、旧町立病院の現在を知ってもらうきっかけにもなりました。参加者や地域の方々との対話を通じて、企画段階で知り得なかった「すさみキャンパス」訪問者の生の声や、私たちの活動に対する感想をいただくことができ、次年度の活動に向けた貴重な学びとなりました。



## 【今後について】

次年度は、今年度のイベントで出会った地域の方々と交流を続け、旧町立病院をさらに活用していただくために、「バージョンアップ&発信」に力を入れます。また、地域の行事に参加したり、子どもたちとの交流の場を生み出したりすることで、地域との関係性をより高め、活動の幅を広げていきたいです。